

未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業 授業改善セミナー

教科指導講座報告

道東ブロック

外国語科

令和元年11月8日
(主管教育局 オホーツク教育局)

令和元年11月1日(金)、北海道美幌高等学校を会場に、道東ブロック外国語科の授業改善セミナー(教科指導講座)を開催しました。会場校のあるオホーツク管内を中心に道東ブロック(オホーツク、十勝、釧路、根室)の各管内から中学校及び高校の先生22名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介いたしますので、先生方の授業改善の参考として御活用ください。

教科指導講座の概要

テーマ「実践的な教科指導力の向上及び主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」

美幌高校の水野先生による「コミュニケーション英語Ⅱ」の授業を参観した後、言語活動の充実に向けた美幌高校における取組についての説明を基に、主体的に学習に取り組む意欲の向上を図る指導の工夫について協議しました。

研究協議では、中学校と高校の先生方がグループになり、英語による言語活動及びパフォーマンステストの実施状況について交流し、各学校における取組の成果及び課題等について考察しました。

また、教科指導スペシャリストである釧路明輝高校の野田先生と北見柏陽高校の菅村先生によるワークショップを行い、野田先生からは、ICTを活用した統合型の言語活動について、また、菅村先生からは、グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修の内容を踏まえた言語活動等について紹介していただき、「実践的な教科指導力の向上及び主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について理解を深めました。

本講座の概要

研究授業

授業者 美幌高校 水野 豪人 教諭

科目 コミュニケーション英語Ⅱ

- ペアになり、与えられたトピックについて1分間で英語で伝え合い、ワードカウンターで発話した語数を数える言語活動
- ペアになり、相手が日記を基にして話した出来事を英語で聞いて、その内容を3文程度の英語で要約する言語活動
- 説明文を読み内容を理解した後、課題の解決策とそう考える理由を書き、ペアになり英語で伝え合う言語活動

研究協議

- 中高接続の視点を踏まえた生徒の英語による言語活動の状況及びパフォーマンステストの実施状況に係る研究協議

ワークショップ1

講師 釧路明輝高校 野田 由紀恵 教諭

- 「生徒の主体性を育む授業づくり」

ワークショップ2

講師 北見柏陽高校 菅村 朋美 教諭

- 「グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修の内容を踏まえた授業づくり」

教科指導講座の実施状況

研究授業（授業者 水野先生 コミュニケーション英語Ⅱ）



生徒がペアになり、簡単な語句や文を用いて即興の英語で日記の内容を伝え合う言語活動を取り入れた授業を参観しました。また、教師は生徒の言語活動を助ける役割に徹しており、メモを参考にしながら頭の中で英文を構成しながら自分の言葉で伝える生徒の様子が印象的でした。

研究協議

中学校及び高校からの参加者がグループになり、年間指導計画を基に、英語による言語活動及びパフォーマンステストの実施状況について協議しました。「言語活動は、活用場面を想定させるための工夫が重要である。」や「中高連携の観点から、このような協議をすることは大切である。」などの意見が出されました。



ワークショップ1（教科指導スペシャリスト 野田先生）

若手英語教員米国派遣事業に参加した経験から、生徒が創造力を働かせ、主体的に行動できるように自己肯定感を高めるための工夫について説明がありました。また、他教科の既習事項を英語で伝え合う言語活動や、聞いたことを基にワードマップを作成し、書くことにつなげる統合型の言語活動の紹介がありました。



ワークショップ2（教科指導スペシャリスト 菅村先生）

グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修の推進リーダーの経験を基に、生徒が主体的に言語活動に取り組む工夫として「自分で考え、ペアで共有し、クラス全体に発表する。」という段階を踏むことが重要であるとの説明がありました。また、CAN-DOリストを活用した学習評価の仕方の紹介がありました。



教科指導講座参加者の声

【参加者の声】

- 高校の授業や実践を知ることで、中学校で身に付けさせる必要がある英語力を考え、授業改善していこうと思いました。（中学校）
- 研究授業やワークショップで紹介された言語活動に、中学校でも活用できるヒントがたくさんありました。（中学校）
- 中学校の先生方と交流でき、非常に有意義でした。同様の機会があれば、また参加したいです。（高校）
- 研究授業やワークショップで、生きた授業アイデアをたくさん知ることができました。（高校）
- 中学校で実践されている言語活動を知り、高校ではさらに高度な言語活動に取り組ませる必要があることが分かりました。（高校）

【参加者アンケートの結果（一部）】

- 1 紹介した教材や指導方法は活用できますか。
 - ・大いに活用できる 68.8%
 - ・活用できる 31.2%
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の実現や教材、指導方法の理解は深まりましたか。
 - ・大いに深まった 56.3%
 - ・深まった 43.7%
- 3 本講座は授業実践力の向上に役立ちましたか。
 - ・大いに役立った 56.3%
 - ・役立った 43.7%

この報告は、次のウェブページに掲載しております。

<オホーツク教育局ウェブページURL>

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ohk/koukouhan/>